

感染症発生状況

平成30年10月31日

幼稚園・保育園・認可外保育施設の長様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

平成30年10月22日（月）～10月26日（金）の定点における発生状況をお知らせします。
定点23園の対象園児数（定員）は2,716名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】418名 【職員】17名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】83名（前々週の1日あたりの延べ欠席者数86名）

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】症状：熱（151名）、咳・鼻水（67名）、下痢・腹痛（25名）、嘔気・嘔吐（15名）

疾病別：インフルエンザ（45名）、手足口病（31名）、気管支炎・肺炎（13名）、溶連菌感染症（12名）

【職員】症状：熱（3名）

疾病別：インフルエンザ（11名）、胃腸炎（1名）、手足口病（1名）

冬型のインフルエンザ、マイコプラズマ感染症と夏型の手足口病、ヘルパンギーナが混合して流行しています。いずれ、冬型に移行すると思われます。

職員のインフルエンザには要注意です。職員は、児童に先がけてワクチンの接種をお願いします。

【症状別の発生状況】

インフルエンザ 厨川地域で増加しました。

手足口病 河北、都南地域で減少。厨川、盛南、河南地域で増加しました。

気管支炎・肺炎 玉山、厨川、盛南、河南、都南地域で減少。河北地域で増加しました。

溶連菌感染症 河北地域で減少。厨川、盛南、都南地域で増加しました。

【県の状況（10/15～10/21）】

RSウイルス感染症は、中部地区で多くなっています。乳幼児は細気管支炎や肺炎など、重症化する場合があります。患者の咳やくしゃみ、ウイルスが付着した手指などから感染するため、咳エチケットや手洗いによる基本的な予防が重要です。

咽頭結膜熱は、宮古地区で警報値（定点あたり患者数3人）を超えました。予防には、患者との密接な接触を避け、石けんと流水による手洗いを行うことが重要です。

手足口病は減少しましたが、県央地区で警報値（同5人）を超えています。予防には、患者との濃厚接触やタオルの共用を避け、手洗いや排泄物の適切な処理を行うことが重要です。

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話 613-8347（ダイヤルイン）ファックス 652-3424】